

【注】ピリピ教会内にいた「キリスト者は完全でなければならない」と教える“完全主義のキリスト者”を戒め、健全なキリスト者としての生き方を教えています。(新生したキリスト者であれば、“完全主義のキリスト者”も、救われたキリスト者と言えますが、真の意味で勝利した、健全なキリスト者ではありません。ロマ7:14以下、Iヨハ1:5以下他)尚、主イエスがすでにパウロに与えておられる救いの完全さを緑色マーカーで、その与えられた救いを自分のものとするため日々追い求めて生きる姿を赤色マーカーで記します。

【新改訳2017】ピリ3:12-16 3:12 (以下を語るのは、律法主義者に関連してではなく、“完全主義のキリスト者”に関連して。) 私は、すでに得た(救いを得終えた)のでもなく、すでに完全にされている(聖化・栄化され終えた)のでもありません。ただ捕らえようとして追求しているのです。(日々、十字架と復活の主イエスに、全人的に与って生きることを求め続けている) そして、それを得るようとキリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。(12節前半の<追及している>とは、パウロ自身の姿勢。12節後半の<捕らえてくださった>とは、主イエスが愛をもってパウロを召し、堅持して下さっていること。神の先行的恵みにより、神に対する悔い改めと、主イエス・キリストへの信仰が与えられ、神に義と認められて新生し、神の堅持によって聖化、栄化の道をたどるキリスト者は、この双方向の視点が大切なのです。

3:13 兄弟(姉妹)たち。(すべてのキリスト者たちよ。)(上述した12節を、13節で言い換えると⇒) 私は、自分はすでに捕らえた(“完全主義のキリスト者”が言うように、自分は救いを獲得した) などと考えるはしません。ただ、ひとつのこと、すなわち、うしろのものを忘れ、(過去の罪や傷を引きずることも、過去の実績を誇ることもせず、競技走者の視点がゴールに集中するように) 前のものに向かって身を伸ばし、3:14 キリスト・イエスにあって神が上に召してくださるといふ、その賞をいただくために、(主イエスの再臨のときに、主イエスを直接拝して、その栄誉に与るといふ) 目標を目指して走っているのです(Iコリ9:24-27他)。3:15 ですから、おとなである人(聖書の真理をわきまえて生きるキリスト者) はみな、このように(キリスト者は立場としては救われた者であるが、今は救いの完成に与る途上にあるという複眼的視点で) 考えましょう。もしも、あなたがたが何か違う考え方をしているなら、そのことも神があなたがたに明らかにしてください。(他の考え方も認めるのではない。もしも読者のなかで違う理解をしているキリスト者がいるなら、その誤りを神がどこかで明らかにして下さるという意味。)3:16 ただし、私たちは到達したところを基準にして、進むべきです。(キリスト者は、信仰によって義と認められ、日々聖化を求めつつ、栄化の途上にあることをわきまえ)(—初期のキリスト教会が編纂した旧新約聖書66巻を正典とし、告白した『使徒信条』に立つ限り—、あなた自身がいま現在、確信する処に立って行動しなさい。それが信仰生活の経験や成長の度合いに関係なく、健全で基本的なキリスト者のあるべき姿勢であり、霊的・实际的に成長し続ける、健全なキリスト者の生き方なのです。)

ピリピ人への手紙/緒論 ■著者は使徒パウロ(ピリ1:1)。■宛先はピリピにある教会(ピリ1:1)。パウロが第2次伝道旅行でヨーロッパで最初に伝道したローマ帝国の植民地都市(使16:12-34)。ヨーロッパで最初の教会。現在はギリシャ領の廃墟で世界遺産。■執筆場所はカイザリヤ説、エペソ説もあるが、ローマ牢獄説が有力(ピリ1:7,13,14)。■執筆事情は、①獄中のパウロへピリピ教会からの贈り物(おそらくパウロたちへの支援献金)を届けたエパフロデトが病で倒れ、パウロのもとで快復後、託された御礼状(2:25以下、4:18)。②ピリピ教会内に生じた教会員同士の不一致(2:1以下、不一致の原因のひとつは4:2)への勧告。③ユダヤ教主義者がピリピ教会において、救いの条件は割礼と律法遵守であると教えていることへの警告(3:2以下)。④ピリピにある教会にいた、「キリスト者は完全にされたゆえに、完全でなければならない」と教える“完全主義キリスト者”の誤りを指摘し、真の<おとなである人>(3:15)を目指すキリスト者の在り方を教える。⑤近い内にテモテを遣わす通知(2:19-24)。■特色は<喜び>(ギリシャ語原文は計16回)<いつも主において喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。>(4:4) ■執筆年代は(ローマ牢獄説では)紀元61年頃。【注】パウロの殉教は2度目のローマ投獄時で紀元60年代半ば。

＜私たちは到達したところを基準にして進むべきです＞の解説図

スタート/信仰生活の出発点	コース/信仰生活のあり方	ゴール/眠り	最終ゴール/到着点	
<p>※ 青色マーカーは神の救いのお取り扱い。</p>  <p>先行的恵みによって、回心し、神に対する罪の悔い改め(方向転換)と、主イエス・キリストへの信仰告白によって、新生し、義と認められた。(ヨハ 3:3. ロマ 3:24 他)</p>	<p>聖化されてゆく 究極の目標は(ピリ3:14)</p> <p>動機も目的も愛(1テモ1:5)</p> <p>信仰から信仰へ(ロマ1:17)</p> <p>キリスト・イエスが私を捕らえてくださった(ピリ3:12) ⇒【注1】</p> <p>神の堅持(ロマ8:35以下他)と、恵みの手段(御言・祈り・聖礼典・教会生活等)により、日々、新しくされ、成長し続ける(1コリ9:24-27他)。年老いても(使徒2:17. ヨハ21:18他)</p>	<p>※肉体の死の場合、肉体は土に帰り、霊はパラダイスへ(ルカ23:43)</p> <p>※生きている時に再臨があれば(1テサ4:13他)</p>	<p>キリストの再臨(マタ25:14以下. 黙3:11. 22:20他)</p> <p>死者の復活(黙20:4他)</p> <p>キリスト者の栄化(ピリ3:21他)</p> <p>究極の喜びは新天新地で主イエスの喜びに共に与ること(マタ5:21,23. ヨハ4:36他)</p>	<p>新天新地</p> <p>黙21章</p>

【注1】赤い輪は＜キリスト・イエスが私を捕らえてくださった＞(ピリ3:12)こと。愛の字は主イエスへの愛の動機・目的を表す。(参考までに)18世紀の英国でメソジスト派の指導者ジョン・ウエスレーも、その著書『キリスト者の完全』で、主イエスへの愛の動機の大切さを強調しています。⇒同書第19章問1の答『キリスト者の完全の定義』第19章問8の答より(申6:5. マタイ22:37. ヨハ21:15,18他)。

説教の梗概 /【序論】ヘブル11章の信仰の勇者たちに共通することは、完全な者は誰もいないこと。彼らは弱さを抱え、躓き失敗しても、信仰によってその生涯を全うしたこと。【序論(続き)】競技走者(ランナー)の例えは、キリスト者のあるべき基本姿勢を教える。その共通点と相違点。主イエスは全員の優勝を期待し給う。絶対評価でなく絶対評価ゆえ(マタ25:14以下)。

【本論I】＜捕らえようとして追求している＞(12a)と＜それを得るようとキリスト・イエスが私を捕らえてくださった＞(12b)との“関係”に込められた、主イエスとの愛の関係と、救いの確信。(ランナーの例えは、この“関係”を理解する助けとなり、キリスト者の生き方を励まし、進むべき方向を教える。)【本論II】＜到達したところ＞(ピリ3:16)とは、A.＜キリスト・イエスに捕らえられたキリスト者が、B.(過去の経験の良し悪しに関わらず、それが主イエスへの愛を妨げるならば)くうしろのものを忘れ、C.(究極の目標である主イエスの再臨の)＜目標を目指して＞走る、いま現在のステージ。(このステージは其々のキリスト者の霊的状况によって前進、後退する)。
 ■＜基準にして進む＞(ピリ3:16)のために備えられている「恵みの手段」と「神の堅持」(⇒上図および下欄【参考1】) ■使徒パウロにとっての＜到達したところ＞(ピリ3:1-11. 1テモ1:12-17) ⇒【参考2】【適用】霊的・实际的真理をわきまえる＜おとなである人＞(ピリ3:15)は、過去の人生での成功や失敗に左右されず、目標をめざし、＜到達したところ＞(ピリ3:16)を真の栄光に与る通過点にして進む。【結論】＜おとなである人＞(ピリ3:15)は今＜到達したところ＞(ピリ3:16)のステージから、更に主イエスにある目標を目指して走りぬこう。(⇒下欄【参考3,4】)

説教の中でふれることがらを、下記に記します。【参考1】19世紀の英国でジョージ・ミュラーは、神の導きを求めるとき、①祈り、②聖書、③環境、④教会の交わり、⑤御霊の平安を重視。【参考2】使徒パウロ自身が、十字架の理解において＜到達したところ＞の段階。①パウロの罪の身代わりに死なれた主イエスの十字架(ロマ5:8他)⇒②主イエスと共に自分も死んだ十字架(ガラ2:20他)⇒③自分が主イエスに在って負うべき務めとしての十字架(マタ16:24. ピリ3:10他)。【参考3】「ウエストミンスター大(小)教理問答」問1.人間のおもな、最高の目的は何であるか。答.人間のおもな、最高の目的は、神の栄光をあらわし、永遠に神を全く喜ぶことである。(黙4:11. ロマ11:36. 1コリ10:31. 詩73:24-28. ヨハ17:21-23他)神に栄光を帰する礼拝を。【参考4】愛唱聖句・愛唱讃美歌の恵み。若者も(詩1篇. 伝12:1. マタ13:23他)、老人も(詩119:54. 使2:17. コロ3:16他)同じ。＜新しい歌＞(黙14:3他)とは、霊的な力と喜びの新しさを意味する。